

コーディネーター プロフィール

田中 晃代 (たなか あきよ)

近畿大学総合社会学部総合社会学科 環境・まちづくり系専攻 准教授

1999年9月に大阪大学大学院博士後期課程修了。博士号(工学)取得。
2010年より近畿大学総合社会学部総合社会学科講師に就任。現職は、近畿大学総合社会学部総合社会学科環境・まちづくり系専攻准教授。豊中市環境審議会、大阪府大規模小売店舗立地審議会等委員多数。

専門は、市民主体のまちづくりや「場」のデザイン。現場のまちづくりに入り込み、生活者の視点で市民活動を応援するいわゆる「アクション・リサーチ」の手法をとる。最近では、地域資源を生かしたまちの魅力づくりにも関わる。

イベントの趣旨

地域での「緑化活動」、「森林保全」、「生業・伝統文化の保全」等、みどりと関わる様々な活動をされている市民、企業、団体等の発表を通して、交流や今後の活動のあり方などについての議論の場を設けます。

第5回 みどりの交流広場

開催プログラム

日時：平成29年2月25日(土) 12:00~17:30

場所：花博記念ホール(鶴見緑地公園内)

第1部 事例発表	13:00 ~ 16:10
ポスター展示	12:00 ~ 16:30
ポスターセッション	16:10 ~ 16:30
第2部 交流会	16:45 ~ 17:30

主催：公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

後援：大阪府、大阪市、京都府、京都市、兵庫県、神戸市、奈良県、奈良市

公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会

〒538-0036 大阪府大阪市鶴見区緑地公園 2-136

TEL: 06-6915-4513 FAX: 06-6915-4524

事例発表 参加団体

発表時間 団体名・発表テーマ・団体紹介

13：05～13：20◆**チーム竹姫(大阪府大東市)【納豆菌付着竹炭などをういた水質浄化実験】**

チーム竹姫は大東環境みどり会、大阪産業大学、大東市役所環境課ほか地元の企業などの有志によるグループです。大東市役所の横にある水路(新堀川)の水質浄化を4年前から取り組み、納豆菌付着の竹炭、太陽光発電を利用した曝気装置と水循環装置、水耕栽培を利用し水質浄化と美観を兼ねた装置を開発するなど、できる限り安価で普遍的な浄化実験を目指しています。期待される効果としては多くの市民の目に触れる場所です実施することにより、ゴミ投棄などを減らし川に親しみを持ってもらうことです。

13：20～13：35◆**国営明石海峡公園神戸地区 あいな里山公園(兵庫県神戸市)【あいな里山公園の森林保全と植栽管理について】**あいな里山公園は、地域の歴史文化を含む里山環境を再生し、自然との共生を中心とした日本の伝統的な自然観の発信拠点となることを目指した公園です。また、市民団体との協働による公園整備・運営も特徴の一つです。園内には希少な動植物が多く生息・生育しており、生物多様性保全の拠点でもあります。利用者には、時間の止まったような「あいなじかん」の中で季節の移り変わりに応じた体験プログラムを提供しています。

13：35～13：50◆**学校法人谷岡学園 大阪商業大学(大阪府東大阪市)【大阪商業大学新キャンパス校舎を中心とした緑化促進活動】**計画地は、河内小阪駅前周辺に位置し、商業(商店会)やマンション住宅等が立地し、多くの通行人が通る場所にあります。この付近は比較的緑地帯が少なく、みどり豊かな空間を新たに形成することで、地域住民や府民の憩いの場を提供するとともに、地域での緑化活動の促進を目指します。具体的には、近隣企業、行政機関、自治会、商店会等及び当学園の大阪商業大学高等学校、同附属幼稚園が合同で清掃・美化活動に取り組むことを想定しています。また、この地域では市民・学校・各種団体などが協力し、「菜の花」を咲かせる運動が毎年行われていることから、本学においても緑地帯に「郷土の庭」エリアを設け、「菜の花」を咲かせることにより、地域の緑化活動に協力するとともに、緑化推進に係る説明会を行うなど、相互に連携できる体制づくりを検討しています。

13：50～14：05◆**大阪市立北田辺小学校(大阪府大阪市)【学校ピオープの再生・活用】**

大阪市立北田辺小学校では、今から2年前、5年生が中心になって、荒れていたピオープの改修に取り組みました。花壇や池の整備、田圃づくりなどの作業を分担し、1年生から6年生の児童全員が参加しての大改修となりました。新しいピオープには、児童から名前を募集し、「なでこの森」と名付けられました。今の6年生が作業を受けつぎ、より良くなるように、生き物のすみかになるものを設置したり、池のアオミドロを除去したりと、環境整備を続けています。ピオープがある学校でよかったと思えるような、自然豊かな環境をこれからも大切に引き継いでいけるように頑張っています。

14：20～14：35◆**大阪産業大学デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 川口研究室(大阪府大東市)【公園・地域資源を活かした地域活性化のアクションリサーチ】**ランドスケープ・プランニングを専門とする5年目の研究室です。私達は、目の前に広がる風景を成り立たせている「つながり」を様々な視点(自然、コミュニティ、生業、法制度、歴史文化等々)から読み取り、生物を含むみんなが将来に向かい安心して幸せに暮せる場所、地域をつくっていくため、「今・ここ」がどうあるべきかをそこに係わる人と計画し、実行することをモットーにしています。大学の地元である生駒山西麓地域を主な研究フィールドに、地域資源を活かすための政策提言や地域協働プロジェクトを実践しながら研究しています。http://www.masa-lab.info/

14：35～14：50◆**奥須磨公園にトンボを育てる会(兵庫県神戸市)【奥須磨公園のホタルを復活さそう】**

神戸六甲山系の西に位置する横尾山の水脈を受ける奥須磨公園は、昭和44年に開設され自然が豊かで7つの池と小川があって、広さは甲子園球場の約5倍の20ヘクタールあります。かつて、トンボやチョウなど多くの昆虫が生息し、ホタルは無数に乱舞していましたが、昭和50年頃には都市化が進み、次第にトンボやホタルが減少。今、ゲンジボタルの幼虫を1年かけて育て、小川に放流し、復活活着活動を展開しています。

14：50～15：05◆**「この指たかれ」服部緑地都市緑化植物園、植物案内ボランティア（大阪府豊中市)【毎日活動日報告】**服部緑地都市緑化植物園内での植物案内ボランティア、平成12年より16年間、活動日数約4,850日、活動人数約16,500人、案内者数57,700人で、植物案内、ツバキの管理、植物名板などの整備を行って、特に植物案内は開園日全日当番2名以上で来園者の案内活動、また小学校・幼稚園、シニア団体の案内を行っています。当園は椿では大阪では品種・本数も多く冬の植物観察の人気スポットです。活動の近況と16年間の実績を紹介します。

15：05～15：20◆**蜻蛉池公園夢の森づくり隊（大阪府岸和田市)【府営公園内で里山保全活動16年】**2001年4月より16年間、府営の蜻蛉池公園内の“ふれあいの森(6.1ha)”を活動拠点として、里山保全の環境整備活動を行うとともに、府民に対して里山のしぐみを知ってもらい、里山の自然に親んでもらうための環境学習活動のイベントを“ファミリーメイト”と称し、年6回実施し、子ども達とその家族、そして次世代に里山を受け継いでもらうべく場の提供を行っています。

15：25～15：40◆**吹田くわい保存会（大阪府吹田市)【吹田くわいて何】**

以下、昨年度の活動を紹介します。
●4/4　バケツ栽培講習会
●4/17　総会
●5/7、8　産業フェア参加
●5/29　第1回「手作り市」で苗の販売
●7/31「吹田祭り」の時、献上行列
●（夏）市立博物館の夏季展示で、「なにわの伝統野菜」の展示、イベント等の参加
●12/4「吹田くわい祭り」に参加
●12/23　片山公園で、ガールスカウトの収穫作業を手伝う。他に、●休耕田で、栽培、収穫作業、●(1月)地区公民館で、調理実習、●新年度から、登録制を実施、●栽培状況調査(関大高瀬ゼミに協力)●吹田くわいだより「スイテンシス」のブログ公表。※苗(1本100円)、タネイモ(2個100円)・・変動あり「吹田くわいの本」(500円)、絵本「吹田くわいば～な～し」、CD、コースタを販売しています。

15：40～15：55◆**大阪ぐりぐりマルシェ(大阪府大阪市)【マルシェを通した都市と農村のつながりづくり】**

大阪市中央区心斎橋でのマルシェ(ファーマーズマーケット)で、今年で4年目。毎月第2土曜日、難波神社にて開催し、都市と農村の有機的な関係づくりを目指し、大阪を中心とした関西圏のオーガニックファーマーや加工業者、料理人、販売者、アロママッサージistなどが集結します。Green Good Link(緑のよいつながり)＝ぐりぐりを合言葉に、安心、安全、こだわりものを直接作り手から買うことができ、出店者同士でもいいものを生かしつなげる情報交換が行われています。他の場所でもマルシェ開催の依頼が多く、交流の輪が広がっています。

ポスター展示 参加団体

団体名・展示テーマ・団体紹介

◆**豊中緑化リーダー会(大阪府豊中市)【会の支援活動の写真と花壇写真展示】**

豊中緑化リーダー会は、「笑顔とみどりの溢れるまちづくり」を目標に掲げ、行政と協働し、パートナーシップを基本に自主運営する市民団体として活動しています。花壇づくりの他に、植物を育てる活動を公益活動へと結びつけ、子どもから高齢者まで、楽しく花と関わる活動が出来るように支援活動などをはじめとした緑化リーダー養成講座をシステム化し、運営する行政への支援、他の団体と市内を草花で彩り、広める活動を協働育苗という形で行っています。

◆**泉大津緑化ボランティア協議会(大阪府泉大津市)【泉大津の市民緑化活動の仕組みと工夫】**

当泉大津緑化ボランティア協議会は、泉大津市内の緑化ボランティア7団体を構成員とし、市民憲章を旗印として「市民とともに広げる花と緑のまちづくり」を展開しています。殊に、平成25年4月から立ち上げた「花と緑と仲間で楽しい環境づくり」のスローガンで開催される「市民ガーデニング・コンクール」と「花と緑を楽しむ市民の集い」の中に確かな手ごたえを感じています。

◆**秋篠川源流を愛し育てる会(奈良県奈良市)【活動状況を写真紹介、新曲「秋篠川」CD演奏披露】**

近鉄あやめ池駅北側の住宅地を流れる秋篠川源流域1.3kmを活動の舞台としています。18年前に桜154本を堤防に植え、地域の方に各桜の里親になってもらい、以後、川の清掃、さくら祭り、ふるさとウオーク等を毎年行っています。また、流域の児童200人に秋篠川美化に向けて標語や絵画を書いて貰い、桜幹に掲示しています。秋篠川が「ふれあいこいこいときめきの場」になるよう願っています。

◆**中区まちづくり咲一クル「花輪(かりん)」(大阪府堺市)【花でつながる地域の輪】**

堺市中区では「中区まちづくりビジョン」を作成し、区民と行政の協働により魅力あるまちづくりに取組んでいますが、「花輪」は重点プランの一つであるまちの魅力の再発見と創造を実践するために平成22年に結成されたグループです。その活動は、春・秋に種から花苗を育て、中区内の各地域、学校、駅等に配布することで地域を飾ることや、月2回深井駅のフラワーボットの清掃、植替えを通して駅利用者を楽しんでもらうことです。他にも、育てた花苗を中区ウオーキンググループとコラボして、コース途中の小学校でウオーキングメンバー、小学生と一緒に花植えを行うことで世代間交流を目指すイベントも行っています。

◆**春日山原始林を未来へつなぐ会(奈良県奈良市)【春日山原始林の保全について】**

世界文化遺産「古都奈良の文化財」の一つとして、登録されている春日山原始林は、平安時代より禁伐となり、奈良の市街地に隣接する形で残された貴重な照葉樹林として、国の特別天然記念物にも指定されています。しかし、近年、いくつかの要因により、その原生的な植生を維持する事が難しくなっています。当会では、春日山原始林を次世代へ繋いでいくために、その魅力と価値を多くの方へ伝えるとともに、保全活動にも取り組んでいます。

◆**一般社団法人　自然再生と自然保護区のための基金(奈良県奈良市)**

【学びと実践のための谷まるごと棚田の自然再生プロジェクトの紹介及び活動参加公募】

当基金は、耕作放棄地や放棄林等を活用しかつての二次的自然を再生・保全することで、多くの生きものの命を救い育む生息地を確保・維持し、その一部に自然保護区を設けるプロジェクトを全国で実施しています。今回は、奈良市大柳生地地区26枚の棚田が連なる谷まるごとを数年かけて自然再生し、自然保護区とするプロジェクトを紹介します。外来生物が見られず良好な水源が確保できる好条件にあり、2017年1月より基盤整備の活動を本格的に開始しています。協力者を募集中です。

◆**かのご里山村(兵庫県神戸市)【活動紹介(ニュースレター)】**

当会は平成26年4月に発足しました。月1回の定例会と少人数で週一回の活動を行っています。里山イベント等の安定した運営をするために自前の器材を揃え、施設を整備しつつ、参加者・会員募集の広報物を発行しています。「星の杜こども園」が所有する里山環境を再生して、タケノコ掘りや竹・ツタのクラフト、シイタケ栽培、野外料理などのイベントを開催し、こどもたちの遊び場にしています。(ブログ「かのご里山村」で検索してください。)

◆**淡路島マンモス(兵庫県淡路市)【里山資源を活用した観光と暮らしの提案】**

淡路島マンモスとは淡路島の中央部に位置する20,000坪の里山環境を人の手で開拓して作った施設です。淡路島マンモスにはホテル&コテージ・プレーパーク・オーガニック農園といった施設があり、旅行者も島民もみんなが思い思いに過ごせる贅沢な自然空間が広がっています。宿泊の他、プレイパークの利用、毎月行っているイベントやワークショップへの参加など、どなたでもご利用いただけます。

◆**すみれ・花フレンズ(大阪府大阪市)【会のメンバー・地域の取り組み・年間活動・小学校の連携・癒しの園芸の取り組み】**地域活動をボランティアが独自に展開し、種花事業を基本に取り組み、地域の環境の美化を目的に活動しています。構成会員の能力の進化・社会貢献の実感・仲良く楽しく、を合言葉に活動を続けています。小学校への花育授業、障がい者施設との交流、元気なメンバーが私たちの活動の力となっています。

◆**中京・花とみどりの会(京都府京都市)【「中京区役所屋上庭園」及び「京都みつばちガーデン推進プロジェクト」の活動紹介】**京都市中京区役所屋上において緑化ボランティア「中京・花とみどりの会」として発足し、10年を迎えました。養蜂を通じて都市の緑を考えるニホンミツバチの育成も5年になりました。屋上230㎡の芝生スペースを利用して、春はお茶会、秋には採蜜見学会や観月の夕べ等を開催しています。早朝の「朝蜂カフェ」として、英語でトーク(月曜日)、野菜講習会(木曜日)のグループも活動。随時、園児や児童の園芸体験会も行って、緑化の推進に取組んでいます。